!! TAC 通信

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

【 JA版・第804号 】

本所　耕種総合対策部　TAC・営農支援課提供　令和7年9月24日　更新

次回は令和７年１０月８日（水）配信予定です。

★各欄の《下線部分》をクリックしていただきますと、記事内容が表示されます★

✨TAC!!公式アカウント 友達募集中✨

ＴＡＣ公式ＬＩＮＥアカウントではＴＡＣの皆様が日々担い手に訪問する際に
話のネタになる情報や営農技術関係の情報などを配信しています。
ぜひご登録ください！
■登録は右のQRコードからお願いいたします■

お知らせ

■ＪＡ埼玉県担い手サポートセンター「令和７年度　第５回ＪＡ営農担当者研修会」を開催（９／１１）NEW

JA埼玉県担い手サポートセンターは関係機関と協力し、栽培技術及び施肥防除・品目知識・流通等に関する年間を通じた体系的研修会を開催しています（年間10回コース）。第5回は、9月11日新任のTACや営農指導員等28名が参加し、鴻巣市の県種苗センターで開催しました。

「作物コース」では、JA全農さいたま営農支援課　上野技術参与から「水稲の登熟と収穫」の説明を受け、「収穫適期の判定方法」及び「登熟期間の気象障害」等を学び、高温障害を受けた稲穂（不稔籾）を実際手にとり確認しました。「野菜コース」の講義では、同じく営農支援課　阿見技術参与より「野菜の病害虫」の説明を受け、「病気の発生要因・防除方法」「害虫の種類・被害状況・防除・対策」等を学びました。年間10回の研修を通じ、現場で指導にあたるTACや営農指導員の技術習得と生産現場での指導力を期待します。

【令和7年度 第5回JA営農担当者研修会風景】

■秋田県本部「高温対策に向けた圃場巡視会」を開催（９／４）NEW

秋田県本部は9月4日に屋根散水導入による高温対策研修会を開催しました。屋根散水はハウスの屋根に少量多灌水し、水が蒸発する気化熱を利用してハウス上部の温度を下げる技術です。この技術は高温時期の花落ちを防ぐことにより収量減少を抑え、作業者の熱中症対策にも効果的と見込んで実証しており、秋には結果検証を予定しております。参集者であるJA職員や県職員からは「最近は気象災害が多いため、研修会の学びを活かしたい」との声をいただきました。前段で県主催によるスイカ圃場での排水対策研修会も行っており、引き続き県とも連携しながら県内の園芸振興に資する取り組みを進めてまいります。

【高温対策に向けた圃場巡視会の様子】

■新潟県本部「ＴＡＣ等管理者・リーダー研修会」を開催（８／２９）NEW

新潟県本部担い手・営農支援部は、８月２９日に「ＴＡＣ等管理者・リーダー研修会」を開催しました。午前の部は（有）真木農産にて、県内でも普及が進んでいる乾田直播に関する機械（ケンブリッジローラー、レーザーレベラー）や圃場を視察し、発芽率向上策や雑草対策などについて意見交換をおこないました。午後の部は市内のホテルにて、ＪＡ秋田しんせい農業経営支援室の佐藤室長より、金融・営農・販売の事業間連携を通じた経営改善・所得向上の取り組みについて講演いただきました。今後は、ＪＡ秋田しんせいの優良事例や乾田直播栽培などの取り組みを、県内ＪＡに水平展開をおこないます。

【TAC等管理者･リーダー研修会の様子】

■岡山県本部「水稲高温対策試験」を実施（８／１８）NEW

岡山県本部は８月１８日、ＪＡ岡山と共同でザルビオを活用した水稲高温対策試験を行いました。近年、夏季の異常高温による本県産米の外観品質低下（白未熟粒の多発）が懸念されています。対策として危険葉色を示す圃場への追肥が推奨される中、ＪＡ岡山では葉色に代わる新たな追肥指標として、ザルビオで観測したＮＤＶＩ値の活用を検討しました。
今回「にこまる」を対象に、幼穂形成期のザルビオＮＤＶＩ値を基に圃場に６か所の試験区を設置し、生育調査と追肥を行うことで、同時期のＮＤＶＩ値から白未熟粒の発生率の推定や、その発生の抑制の可能性等を検証し、追肥基準となるＮＤＶＩ値を特定していく予定です。
水稲の高品質生産に向けて生産者がザルビオを活用し、追肥判断を簡便に行えるよう、引き続き県内ＪＡと連携して試験に取り組みます。

【圃場での生育調査の様子】

■愛媛県本部「ＪＡ農業サポート実践会議」を開催（８／１７）NEW

愛媛県本部は県域の４連合会で組成しているＪＡグループ愛媛担い手サポートセンターを事務局として、８月２７日に県内ＪＡの営農部門と信用部門を対象とした、農業経営カードゲーム「農トレ」を一般社団法人 Bridge for Fukushima の講師を招いて開催しました。
当日は参加者自身が農業経営の全体像を感覚的に体験し、先を見据えた農業経営を支援していくことを目的に、シミュレーションカードゲームを使って楽しく考えながら経営スキルを学びました。
出席者からは「農業経営の難しさ・判断の大切さを体感することができた。」等、前向きな意見が多く、非常に好評でした。
今後も事業間連携を図りながら、ＪＡと一体となって担い手への推進強化に取り組みます。

【JA農業サポート実践会議の様子】

■ＡＦＪ日本農業経営大学校オンラインスクール「経営マスターコース マーケティング」講座のご案内 NEW

ＡＦＪ日本農業経営大学校オンラインスクールは、２０２５年１２月２３日（火）～２０２６年３月２５日（水）（全６回）の日程で、「マーケティング」講座を開催いたします。フレームワークの習得に加え、同じ課題を持つ全国の農業者とのディスカッション。そして自社の課題発見と講師によるフィードバックを通じて、基礎から学び、経営で活かせる思考力を身に付ける全６回の実践型カリキュラムです。
講師の詳細は本校ＨＰでご確認いただけます。
https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/marketing/

■兵庫県本部「ＪＡ営農職員水稲栽培現地研修会」を開催（７／８・９／３）

兵庫県本部では、兵庫県立農林水産技術総合センターの協力のもと、ＪＡの若手営農相談員を対象にＪＡ営農職員水稲栽培現地研修会を７月８日と９月３日の２回開催しました。両日ともに、県下ＪＡより２６名の参加があり、「水稲栽培」をテーマに座学と実習を交え基礎研修を行いました。

第１回では、水稲の生理、幼穂形成期までの形態と生育調査方法を学習し、第２回では、出穂期以降の形態や高温障害について学んだ他、場内圃場にて生育調査方法を学び理解を深めました。また、兵庫県オリジナル品種「コ・ノ・ホ・シ」についても栽培等の知識習得に向けた研修を行いました。参加したＪＡ営農相談員からは「座学だけでなく、実際に圃場で生育調査を行ったことで、より知識を身につけることができた。」「今後の営農指導に活かしたい。」と声が寄せられました。

【現地実習の様子】

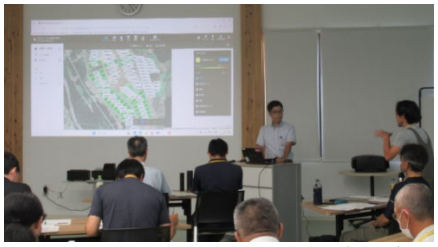
■山形県本部「担い手営農サポートシステム操作研修会開催」を開催（８／２８）

山形県本部は、８月２８日に担い手営農サポートシステム操作研修会を開催しました。研修会ではＪＡ全農の担当者を講師として招き、県内のＮＥサポシステムの利用状況についての報告や新機能の紹介・事前に参加者からいただいた質問・改善事項に対する回答、ＴＡＣ活動に関する意見交換を実施しました。当課では今後もＪＡのＴＡＣ活動・出向く活動について、積極的にサポートしてまいります。

【担い手営農サポートシステム操作研修会の風景】

■秋田県本部「スマート農業指導士育成に向けてザルビオフィールドマネージャーの講義」を開催（８／２５）

秋田県本部は、「スマート農業指導士育成プログラム」にて、ザルビオフィールドマネージャーの講義を行いました。このプログラムは、生産者がスマート農業を効率的に導入するための指導を行うことができる人材を育成する取り組みとして、秋田県立大学が令和４年度から社会人の教育プログラムとして開講しています。４年目で初めてザルビオフィールドマネージャーが講義に加わり、受講生は農作業におけるデータ利活用について学びました。講義後に活発な意見・質問が飛び交う等、ザルビオフィールドマネージャーへの関心は非常に高いと見受けられました。１１月１７日にはＺ－ＢＦＭの講義の講師対応も行う予定です。



【スマート農業指導士育成に向けてザルビオフィールドマネージャー講義の風景】

■兵庫県本部「兵庫県農業法人協会・全農兵庫との意見交換会」を開催（８／２２）

兵庫県本部は令和７年度　兵庫県農業法人協会役員との意見交換会を開催しました。この会は、令和３年度より定期的に複数ＪＡ管理者の方にもオブザーバーとして出席いただき、その時々にあわせた議題の意見交換を行ってきました。今回、法人協

会役員交代があり、新役員から協議テーマとして「農業経営における事業の継承と人材育成」を要望され、(株)ファームマネイジメント・サポート 梅本雅 様より講演いただきました。農業分野においても「人材不足」は深刻な状態であり、従業員満足度を上げることが重要であることを共有しました。参加した役員から、「女性従業員の満足度に気を使っている」「休憩部屋の設置した」などの意見があり、比較的、参加した法人協会役員は、「従業員ファースト」の経営者が多いことがわかりました。また、情報提供として「バイオ炭によるＪクレジット対応」「米穀情勢」の説明を行いました。中でも、「米」に対する関心度は高く、販売について熱い議論がされた。
兵庫県本部では、県下の担い手法人との接点を持ち本会事業への理解と協力を進めていきます。

【兵庫県農業法人協会・全農兵庫との意見交換会の風景】

■全農ＴＡＣ・営農支援課「新・農業人フェア」開催のお知らせ

株式会社農協観光主催により、「農業を知りたい」「働きたい」「かかわってみたい」という気持ちをもつ全ての方を対象に、各自治体や農業法人等の就農支援情報及び求人情報を提供するとともに、農業への就農促進を図ることを目的に、国内最大級の就農イベント「新・農業人フェア」が令和７年８月～令和８年２月にかけて、東京及び大阪で開催されます。出展者や来場者を募集していますので、下記ＨＰでご確認ください。
ＨＰ：https://agri.mynavi.jp/shin-nogyojin

日時	エリア	開催種別	会場
8/2（土）	東京	農業就職・転職LIVE	歌舞伎座タワー
9/15（月祝）	東京	農業EXPO	国際フォーラム
11/9（日）	大阪	農業EXPO	グランキューブ大阪
11/23（日）	東京	農業EXPO	東京ビックサイト
2/11（水祝）	東京	農業就職・転職LIVE	東京交通会館

※農業就職・転職ＬＩＶＥ…農業法人の出展に特化した就農相談会
農業ＥＸＰＯ……日本全国の自治体、就農支援機関など各種団体がメインで出展（農業法人も可能）

技術情報

■農研機構　技術情報 輸送中のかんしょに対する腐敗防止方策標準作業手順書

（農研機構ＨＰへリンク）NEW

今週は、輸送中のかんしょに対する腐敗防止方策標準作業手順書についての研究成果を紹介します。

【概要】
日本産のかんしょは高品質で食味に優れるため近年輸出が増加している。一方、特に冬期の海上輸送においてかんしょの腐敗が多く発生しており、経済的損失およびフードロスが大きな問題となっている。そこで、かんしょの貯蔵～出荷工程における病原菌の感染を防ぎ、輸送中の腐敗を防止するための方策を取りまとめた標準作業手順書を作成して、生産者、輸出事業者等に向けた普及活動に活用する。

※農研機構プレスリリース・普及成果情報は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」にリンクを貼付しています。
（出典：農研機構ＨＰ 普及成果、研究成果より）

～全農は、農業現場が抱える課題の解決に向けて、農研機構と連携し、新技術・新品種の産地提案や実証試験を通じた普及推進に取り組んでいます～

■農薬研究室　技術情報 農薬製剤の剤型[液体製剤]について

（アピネス／アグリインフォＨＰへリンク）NEW

今回は「液体製剤」について紹介します　！農薬は製剤化することで効果が安定し、使いやすくなります。
液体製剤の特徴を理解して、正しく使用しましょう
ＮＥサポートシステムの「ナレッジ」→「０４.農薬」にも格納してあります。
（出典：アピネス／アグリインフォＨＰ 営農情報より）

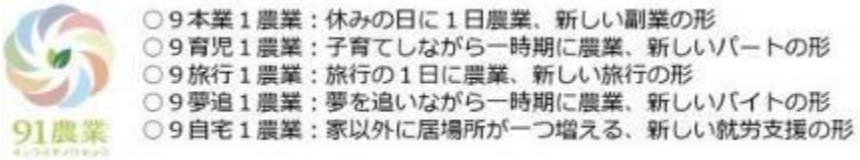
農業労働力支援

■全農本所ＴＡＣ・営農支援課　「全国労働力支援協議会」の開催

本所ＴＡＣ・営農支援課では、全国６ブロックに設置したブロック別労働力支援協議会での協議を踏まえ、農業労働力支援を通じた地方創生・地域活性化を目指す「全国労働力支援協議会」を令和４年３月に設立し、設立以降毎年開催しております。
６ブロックの協議会（北海道、東北、関東甲信越、北陸東海近畿、中国四国、九州）と、全中、全共連、農林中金、全農およびパートナー企業を構成団体とし、オブザーバーとして農水省他関連省庁や関係企業等にも参加いただいています。
今後、本所ＴＡＣ・営農支援課は協議会を通じて、①農業への多様な人材の活用促進、②農業以外の他産業との連携促進、③後継者誘導しやすい環境づくりの促進を目指し、農業だけでなく地方が抱える課題の共有と解決に向けた取り組みを進めます。

■全農本所ＴＡＣ・営農支援課　「９１農業」の提唱

本所ＴＡＣ・営農支援課は、様々な方々に農業参加を促す新たなライフスタイル「９１農業」を提唱しております。
他産業・一般の方々に向けて、①農業へのハードルを下げて農業参加を訴求すること、②パートナー企業連携による農作業請負の取り組みを広く周知すること、等を目的として「あなたのライフスタイルに農的生活を１割取り入れませんか？」をコンセプトに、少しでも多くの方が農業に関われるような環境を目指して全国労働力支援協議会とも連携しポスターやＨＰ等でＰＲ活動を進めています。



事業承継

■全農本所ＴＡＣ・営農支援課　「事業承継支援　虎の巻」のご案内

全農本所ＴＡＣ・営農支援課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるＴＡＣの技を収集し、全国のＴＡＣの皆様に「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援　虎の巻」を発信しています。
あなたの「技」を全国のＴＡＣへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域ＴＡＣ部署を通じて本所ＴＡＣ営農支援課にご連絡ください！
担い手営農サポートシステム「ナレッジ」２０（新規就農・事業承継）にも格納済みです。ご活用ください。

■全農本所ＴＡＣ・営農支援課　「Ｚ－ＧＩＳで効率的な事業承継の実現を！」のご案内

全農本所ＴＡＣ・営農支援課では訪問チラシ「Ｚ－ＧＩＳで効率的な事業承継の実現を！」を作成しています。Ｚ－ＧＩＳの推進および事業承継の啓発の際にご活用ください。こちらからご確認いただけます。

■全農本所ＴＡＣ・営農支援課　「ＪＡグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」のご案内

全農本所ＴＡＣ・営農支援課ではＪＡ全国担い手サポートセンターと連携し、ＪＡ等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的イメージが理解できるよう手引きを作成しています。
ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。
手引きは、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」２０__（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■全農本所ＴＡＣ・営農支援課　事業承継啓発チラシ親子別Ｖｅｒ．のご案内

全農本所ＴＡＣ・営農支援課は、事業承継啓発に係るツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しています。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というＴＡＣの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一歩目のツールとして使いやすいものとなっていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。
チラシデータは担い手営農サポートシステム「ナレッジ」２０__（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

本所ＴＡＣ・営農支援課は「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック部会版）を発行し全農ＨＰで公開しています。是非、各県でのＴＡＣ活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農　ＨＰはこちら

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

本所ＴＡＣ・営農支援課では各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」（事業承継ブック集落営農版）を発行し全農ＨＰで公開しています。是非、各県でのＴＡＣ活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農ＨＰはこちら

Ｚ－ＧＩＳ

！！Ｚ－ＧＩＳ　の動画のご紹介！！

全農本所スマート農業推進課が、
新たにＺ－ＧＩＳの動画を1編作成しました。
計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの
導入、展示会等のPRに
ぜひご活用ください。
Ｚ－ＧＩＳスタートアップガイドは[こちら]
Ｚ－ＧＩＳユーザーインタビューは[こちら]
Ｚ－ＧＩＳユーザーインタビュー２０２０は
[こちら]

■本所スマート農業推進課　～スマート農業の先進事例を見てみよう！～「Ｚ－ＧＩＳ・ザルビオ活用ガイド２０２３／２０２４」を発行（ご案内）

本所スマート農業推進課では、Ｚ－ＧＩＳ・ザルビオの利用促進、さらなる普及拡大を目的に、令和元年度のＺ－ＧＩＳ導入ガイドから始まり、令和４年度は「Ｚ－ＧＩＳ・ザルビオ活用ガイド２０２３／２０２４」を発行しました。

各システムのユーザーである全国の生産者、ＪＡにインタビューを実施し、計８事例掲載しております。また、ガイドの冒頭２ページに、Ｚ－ＧＩＳ・ザルビオを導入いただいたユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付登録までの手順を掲載しております。

冊子をご要望の方は、本所各営農資材事業所、本所スマート農業推進課までご連絡ください。また、Ｚ－ＧＩＳホームページやＮＥサポートシステム（15_スマート農業・ICT）でもＰＤＦ版を公開しております。

活用ガイド２０２３／２０２４はこちらからご覧いただけます。

人材育成（ＴＡＣアグリビジネススクール、他各種研修資料等）

■本所ＴＡＣ・営農支援課　令和７年度ＴＡＣアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

令和７年度のＴＡＣアグリビジネススクールについて、日程が決定いたしましたので下記の通りご案内いたします。

※第８～１０回で開催時間の変更がありましたので、ご確認ください！ 2025/7/9 更新

回	日程	時間	テーマ
1	６／３（火）	１０：００～１５：００	農業を取り巻く情勢・取り組み
2	７／９（水）	１０：００～１５：００	生産資材・技術情報①
3	８／５（火）	１０：００～１５：００	農業労働力支援・相続・事業承継
4	９／３（水）	１０：００～１５：００	農業現場における労務管理・会計基礎
5	１０／８（水）	１０：００～１５：００	会計・税務研修①
6	１１／５（水）	１０：００～１５：００	会計・税務研修②
7	１２／３（水）	１０：００～１５：００	会計・税務研修③
8	１／７（水）	１０：００～１５：００	総合事業連携の取り組み
9	２／４（水）	１０：００～１５：００	生産資材・技術情報②
１０	３／４（水）	１０：００～１５：００	販売強化の取り組み

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■本所ＴＡＣ・営農支援課　ＴＡＣアグリビジネススクール収録動画の格納について（ご案内）

本所ＴＡＣ・営農支援課は開催した「ＴＡＣアグリビジネススクール」の講義内容の動画をＹｏｕＴｕｂｅに限定公開しています。

動画ＵＲＬ・講義資料は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」１３＿（会議・研修資料）にも格納済みです。

■「ＴＡＣの手引き」、「ＴＡＣ担い手訪問ハンドブック」

ＴＡＣの意義や導入目的、取組の進め方など、ＴＡＣの導入から運用に至るまでを網羅する「ＴＡＣの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「ＴＡＣ担い手訪問ハンドブック」について担い手営農サポートシステム「ナレッジ」１３（会議・研修・手引き資料）に掲載しました。ご活用ください。

貸出資材

■全国共通資材の貸出

〇のぼり、ハッピ、テーブルクロス

貸出申請書は、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」－「各種様式・マニュアルに格納されています。

〇提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

〇タペストリー

本所ＴＡＣ・営農支援課は「ＴＡＣパワーアップ大会２０２４」の開催にあわせ、ＴＡＣタペストリー一覧を更新しました。イベント時などにご使用ください。

なお、使用時は「ＴＡＣタペストリー貸出しマニュアル」のご一読をお願いします

〇提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」－「各種様式・マニュアルに投稿済

経営相談

※無料ですので、積極的にご活用ください！！！

■担い手対応の経営相談

担い手を対象として経営に関する相談を行っています。　経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、県域ＴＡＣまで連絡ください。

■農業経営支援に関する役立つ情報を配信します！NEW

農業経営支援に関する役立つ情報をＴＡＣ通信、ＴＡＣ　ＬＩＮＥで配信をしていきます！

実際に合った事例や、過去の対応・決算データ等を基に現場のＴＡＣに分かりやすい形でお届けします。

◆記事はこちらから　☜Click here

◇今後の配信スケジュール

ＴＡＣ通信（毎月第４水曜日掲載）／ＴＡＣ　ＬＩＮＥ（毎月末配信）

配信月｜テーマ
〇 節税のポイント！を全5回シリーズで解説！
5月 農地の取得･保有･譲渡編
6月 設備投資編（スマート農業、環境負荷軽減）
7月 青色申告編－①
8月 青色申告編－②
9月 法人化編
〇 事業承継支援に向けた担い手の経営税務に係るチェックポイントを全5回シリーズで解説！
10月 集落営農法人の事業承継
11月 個人親子間
12月 法人親子間
1月　個人第三者承継
2月　法人第三者承継
〇 これだけはおさえておきたい！インボイスを解説！
3月　経過措置への対応策について

◆アンケートはこちらから！
農業経営支援に関する上記の記事の感想、今後取り扱ってほしいテーマなど皆さんのお声を気軽にお聞かせください！

担い手営農サポートシステム関連情報

■担い手営農サポートシステムの利用申請について

利用申請（新規、再登録、削除）については、Web上で実施していただきます。
（URL：https://zennoh.my.site.com/entry）

以下登録の手順をお知らせいたします。
①上記URLを開き、必要事項を入力
②入力内容を確認し、利用規約に同意する
③入力した内容が記載されたPDFがダウンロードされる
④申請情報で入力したアドレス宛に申し込み完了メールが送信され、PDFアップロードリンクが記載されている
⑤ダウンロードされた担い手サポート管理システム申請書PDFを印刷し、「情報機器管理者」「管理者」「担当者」欄に押印する
⑥PDFアップロードリンクに押印したPDFをスキャンしてアップロードして完了
⑦ヘルプデスクが入力内容を確認し、問題なければ、アカウント発行処理が実施される

詳細は担い手営農サポートシステムのナレッジに格納しております。
（ナレッジＵＲＬ：https://zennoh.lightning.force.com/lightning/r/Knowledge__kav/ka02x000000WRyxAAG/view）
※ナレッジは担い手営農サポートシステムユーザーのみ閲覧可能です。

■ヘルプデスク連絡先

〒１５１－００５１東京都渋谷区千駄ヶ谷５－２７－５リンクスクエア新宿９階
株式会社　全農ビジネスサポート
担い手営農サポートシステムヘルプデスク
ＴＥＬ：０３－３３５０－１１５７
Ｅメール：ninaite-help@z-bs.co.jp

ランキング集計

【　８月　】月間ランキング

JA別-面談記録登録状況

(訪問期間:2025/08/01 ～ 2025/08/31)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	2,052	66	31.1
2	JA湘南	1,625	37	43.9
3	JA仙台	1,361	40	34.0
4	JAフルーツ山梨	1,353	27	50.1
5	JA南彩	1,272	11	115.6
6	JA常総ひかり	1,147	16	71.7
7	JA金沢市	1,118	26	43.0
8	JA兵庫南	986	14	70.4
9	JAよこすか葉山	958	6	159.7
10	JA岡山	907	29	31.3

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/08/01 ～ 2025/08/31)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA京都にのくに	160	1	160.0
2	JAよこすか葉山	958	6	159.7
3	JA柏屋	312	2	156.0
4	JA南彩	1,272	11	115.6
5	JAしおのや	545	5	109.0
6	JAさいかつ	418	4	104.5
7	JAくるめ	786	8	98.3
8	JAあさか野	578	6	96.3
9	JAなす南	370	4	92.5
10	JA東京むさし	254	3	84.7

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計
★８月２３日登録までの集計

【　９月8日 ～ ９月２１日　】週間ランキング集計

JA別-面談記録登録状況

(訪問期間:2025/09/08 ～ 2025/09/21)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA仙台	692	38	18.2
2	JA兵庫南	566	13	43.5
3	JAレーク滋賀	550	40	13.8
4	JAさいたま	457	14	32.6
5	JA北九	432	16	27.0
6	JA常総ひかり	419	13	32.2
7	JAフルーツ山梨	415	23	18.0
8	JA金沢市	393	17	23.1
9	JAくるめ	379	9	42.1
10	JAよこすか葉山	372	6	62.0

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2025/09/08 ～ 2025/09/21)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA福岡大城	78	1	78.0
2	JA越谷市	77	1	77.0
3	JA柏屋	145	2	72.5
4	JAよこすか葉山	372	6	62.0
5	JAなす南	227	4	56.8
6	JA埼玉中央	53	1	53.0
7	JAあさか野	255	5	51.0
7	JAしまね 西いわみ地区本部	153	3	51.0
9	JAしおのや	218	5	43.6
10	JA兵庫南	566	13	43.5

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計
★８月２３日登録までの集計

最近のメディア

〇スマート農業情報
ザルビオユーザー事例　秋田県　伊藤譲
ザルビオユーザー事例　香川県　横関さん
※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」１６＿（スマート農業・ＩＣＴ）に格納

〇グリーンレポート９月号
JAと連携した農業普及活動～なし園での天敵利用を核とした IPM の取り組み～
営農アシスト～「グリーンメニュー」の普及に向けて～

〇経営実務５・６月号
いまこそＴＡＣだ！！　島根県　ＪＡしまね　大國満瑠氏
いまこそＴＡＣだ！！　栃木県　ＪＡうつのみや　手塚仁氏
いまこそＴＡＣだ！！　滋賀県　ＪＡレーク滋賀　西村聡司氏

〇地上１０月号
※「地上」の公式ＨＰはこちらから。

〇全農ウィークリー
ｖｏｌ．１１２２（９／１５）NEW
※ＴＡＣ活動の紹介等で転載する場合は申請不要です。

〇ＡＧＲＩＦＵＴＵＲＥ
Ｎｏ．．１１０（ＪＡわかやま）発行（６／２５）
◆生産者の声：新しょうが／すもも／南高梅（なんこううめ）
◆クローズアップ：新しょうがレシピ
◆地域百景：日本一の梅ブランド／和歌山県の「すもも」
フリーペーパー：各県域ＴＡＣ部署へ送付　ＨＰはこちら

■最近のメディア

〇全農ＨＰ
◉王貞治氏ほかプロ野球選手が子どもたちを直接指導！　ＪＡ全農ＷＣＢＦ少年野球教室を開催 NEW
◉元卓球日本代表の石川佳純さんが子どもたちを指導「全農 presents 石川佳純 47 都道府県サンクスツアーin 三重」NEW
◉「第 11 回全国小学生一輪車大会(ペア・グループ演技部門)」　ＪＡ全農が「ニッポンの食」で応援 NEW

〇農業協同組合新聞
◉輸入米から適用外農薬を検出　農民連食品分析センターNEW
◉アメリカ産米　輸入量 2000 倍に　民間輸入が急増 NEW
◉【サステナ防除のすすめ 2025】施設イチゴ　低温好み病害多く NEW
◉過去最高　60kg2 万 4825 円　24 年産米平均価格 NEW
◉米価　3 週連続上昇　5kg4275 円　農水省 NEW
◉みどり戦略対策に向けたＩＰＭ防除の実践（77）【防除学習帖】第 316 回 NEW
◉農薬の正しい使い方（50）【今さら聞けない営農情報】第 316 回 NEW
◉【サステナ防除のすすめ 2025】秋まき小麦防除のポイント　除草とカビ対策を NEW
◉米価下落に不安の声　生産者委員　食糧部会 NEW
◉段ボール、堆肥、苗で不耕起栽培「ノーディグ菜園」を普及　日本ノーディグ協会 NEW
◉米価　5kg4000 円台に　13 週ぶり NEW
◉飼料用米、WCS 用稲、飼料作物の生産・利用に関するアンケート実施　農水省 NEW
◉世界初　土壌団粒単位の微生物シングルセルゲノム解析に成功　農研機構 NEW
◉農薬出荷数量は 1.3%増、農薬出荷金額は 3.8%増　2025 年農薬年度 7 月末出荷実績　クロップライフジャパン NEW
◉米の収量で作況に代わる新指標　5 年中 3 年平均値対比　農水省 NEW
◉水稲の斑点米カメムシ類　1 道 2 府 32 県で注意報　病害虫発生予報第 7 号　農水省 NEW
◉ダイズと根粒菌の共生で N2O 削減の新技術　世界的産地での普及や品種の作出進める　農研機構 NEW
◉来年 6 月の米在庫量 200 万ｔ超の見込み　小泉農相　備蓄制度見直しも NEW
◉農業を仕事にする第一歩を応援「新・農業人フェア」15 日に開催　農協観光 NEW
◉「企業と森林の共創による win-win な未来へ」シンポジウム開催　農水省 NEW
◉脱炭素時代の国際基準を日本で実装 小売業や生産資材の参画を拡大へ 農林中金「インセッティングコンソーシアム」NEW

◉鳥インフル　米メリーランド州からの生きた家きん、家きん肉等　輸入を一時停止　農水省 NEW
◉鳥インフル　カナダからの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止　農水省 NEW
◉米の民間在庫量　来年６月末　198 万～229 万玄米ｔの見込み NEW

◉病害虫発生情報

※　本リンクは、インターネット上にある新聞や各種情報のうち、TAC・営農支援課が担い手に関係する内容を収集して作成しています。

全農本所　耕種総合対策部　TAC・営農支援課
TEL:03－6271－8276
FAX:03－5218－2535
mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp

HP

TAC・出向く活動パワーアップ大会 2024「大会宣言」

我々ＴＡＣは、
一、担い手の声に寄り添い、
ＪＡグループの力を発揮し、真摯に応えます。
一、担い手とともに、
「地域農業」と「食」の未来を守り続けます。
一、ＴＡＣなど訪問活動の輪を広げ、
新たな可能性に挑戦していきます。

★第2・第4水曜を基本に定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★
※お休み等で配信日が変更となることもございます。ご了承ください。